

CONTENTS

目次

- 4 ● 巨理郡中学校総合体育大会
輝けアスリートたち I
- 6 ● 叙勲の荣誉
- 折込 ● 逃げ遅れゼロへ！
水害・土砂災害の防災情報
の伝え方が変わります
- 2 ● トピックス
歩いて発見東北の魅力
みちのく潮風トレイル全線開通記念式典開催
笑顔溢れる海での体験
海洋性スポーツ体験学習実施
地域の繋がりを再確認
巨理町総合防災訓練実施
- 7 ● 2019年わたりふるさと夏まつり
- 10 ● ニュース&ニュース
交通事故ゼロを願って
フラワー作戦実施
豪快料理で復興支援
マグロ解体ショー
食のありがたみを学ぶ
小学生が田植え体験
地域課題を町歩きで考察
大学生がフィールドワーク
- 12 ● ふれあいと健康のひろば
休日当番医・相談の予定など
- 23 ● おしらせひろば
暮らし・募集・催しなどのお知らせ



今月の表紙
巨理小学校5年生による体験学習での一コマ。B&G海洋センター艇庫に児童たちの笑顔があふれました。この夏、みなさんも足を運んでみてはいかがでしょうか。

地域の繋がりを再確認
6月9日に巨理町総合防災訓練が実施され、午前8時55分のサイレン吹鳴を合図に、町内一斉に訓練が開始されました。
今回の訓練では、町内を5地区に分け、各地の災害想定に対して訓練を実施しました。
このうち、吉田西部地区と吉田東部地区が合同で訓練を実施した吉田小学校では、サイレンの後に、素早く避難し集まった住民が、行政ごとに安否確認や情報集約を行いました。また会場では、東北大学の佐藤翔輔准教授による防災講話が開催されたほか、関係機関の協力を得て、初期消火訓練や、仮設水槽を用いた強水流歩行体験



初期消火訓練を行う参加者

などを行いました。参加者からは「訓練ならではの体験ができた。」「地域での連携が重要と感じた。」「などの感想が聞かれました。」
担当／総務課 安全推進班
☎(34)1111

洪水の危険を察知 速やかな避難行動を

災害に備えるためには、日頃からの情報収集が重要です。特に、洪水の危険度は段階的に高まりますので、阿武隈川などの水位の変化を確認し、早めの防災対応が必要です。
国土交通省では、河川の水位情報や、市町村のハザードマップを閲覧できるウェブサイトを運用していますので、いつでも確認できるようにしておきましょう。

担当／総務課 安全推進班 ☎(34)1111



▲巨理町ハザードマップ



▲阿武隈川水位情報



力を合わせてカッターに挑戦する児童たち



全線開通をアピールする4県28市町村長

歩いて発見東北の魅力 みちのく潮風トレイル全線開通記念式典
6月9日、みちのく潮風トレイル全線開通記念式典が名取市文化会館で行われました。式典では、4県28市町村長による全線開通宣言などが行われ全線開通をアピールしたほか、原田義昭環境大臣が「トレイルを通じて東北の魅力が多くなるに伝わってほしい。」と期待を込めました。
また、引き続き行われたシンポジウムでは、女優の市毛良枝さんによるトレイルの講演や、パネルディスカッションが行われ、ロングトレイルの魅力とみちのく潮風トレイルの可能性について活発に意見が交わされました。
みちのく潮風トレイルは、青森県八戸市蕪島から福島県相馬市松川浦までの海岸線を中心に設定された全長1,000km以上に及ぶ国内最長のロングトレイル（歩くための道）です。この取組は、東日本

担当／企画財政課 復興管理班 ☎(34)0525

笑顔溢れる海での体験 海洋性スポーツ体験学習実施

町内各小学校に通う5年生を対象とした海洋性スポーツ体験学習が、巨理町B&G海洋センター艇庫で5月29日から7月1日までの期間で実施されています。
この体験学習は、荒浜地区の鳥の海でカヌーやカッターなどを体験することで、地元の自然と触れ合いながら、海洋性スポーツへの理解を深め、その振興と普及を図ることを目的として30年以上にわたって実施してきました。
東日本大震災で艇庫が被災し、復旧工事が完了するまでの7年間は中止を余儀なくされましたが、平成30年度に再開を果たし、今年で2回目の実施となります。

担当／生涯学習課 スポーツ推進班 ☎(34)0511

参加した児童たちは、はじめに陸上で漕ぎ方や注意事項などの説明を受けると、真剣な表情で指導員の話に耳を傾け、繰り返し練習を行っていました。また、実際に海面に出て行う体験では、鳥の海灣の至る所で歓声があがるなど、陸上とは違う「波」の影響に苦戦しながらも、カヌーやカッターを楽しんでいる様子が見られました。
体験学習を終えた児童は、「最初は難しかったけど楽しかった。もっと乗りたい。」と笑顔で話し、また艇庫に来ることを約束していました。